

町民の皆様への重大なお知らせとお願い

議会運営委員会委員長の山田康雄です。

日頃より町民の皆様には議会に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

町民の皆様、本日、我々色麻町議会は、天野秀実議長に対し改めて政治的決断を促す「議長辞職勧告決議」を可決いたしました。

まず初めに、昨年来より続く議会の混乱、および議員によるボイコットにより本会議の欠席という異常事態により、町民の皆様に多大なるご心配とご不安をおかけしておりますことを、議員一同、心より深くお詫び申し上げます。

我々が本日、辞職の期日を定めた勧告という重い決断に至った理由は、ただ一つ。「色麻町の未来と、町民の皆様の暮らしを守るため」です。

昨年9月の不信任決議可決後、議会是对話による解決を模

索してまいりました。しかし、天野議長は自らへの疑念に対する説明責任を果たす代わりに、議会を提訴するかののような姿勢や、一方的な「公開質問状」による責任転嫁を繰り返し、議会との信頼関係は完全に崩壊いたしました。

信頼を失った議長の下では、町政の重要事項を決定する「議会」としての機能は果たせません。このままでは、間近に迫った「令和８年度当初予算」の審議すら、正常に行えない恐れがあります。

本日、我々が議場に帰ったのは、議長を認めたからではありません。これ以上の町政の停滞は、町民の皆様に対する最大の背信行為になると判断したからです。

我々は、不信任の意思に一点の疑義のないことを議事録に刻んだ上で、予算審議や通年議会の会期決定といった、町政を動かすための「最低限の実務」を遂行する道を選びました。

我々は、天野議長に対し、令和８年１月１４日までの辞職を強く求めました。これが聞き入れられない場合、我々議会

に残された手法としては議長への懲罰か議員自らけじめとして現状をリセットする「議会解散」か、二つにひとつしかありません。

我々議員もまた、この混乱を収束させられなかった責任を痛感しております。もし、この期日までに正常化が図られないのであれば、潔く町民の皆様の審判を仰ぎ、新しい議会に色麻町の未来を託す覚悟です。

色麻町の誇りある地方自治を守るため、そして停滞した町政を一刻も早く正常に戻すため、我々は最後まで不退転の決意で臨みます。町民の皆様におかれましては、現在の議会が置かれている極限の状況と、我々の苦渋の決断をご理解いただき、今後の推移を厳しく注視して頂きますよう、伏してお願い申し上げます。

令和 8 年 1 月 6 日

色麻町議会議員一同